



平成 29 年 11 月 13 日

各位

上場会社名 株式会社アーレスティ
代表者 代表取締役社長 高橋 新
(コード番号 5852)
問合せ先責任者 経営企画部長 成家 秀樹
(TEL 03-6369-8664)

過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ

この度、当社において過去に発表いたしました連結財務諸表等について誤謬があることが判明いたしました。現在、過年度の決算短信及び有価証券報告書等の訂正作業を進めており、現時点で判明している事実につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本件誤謬の原因等について

当社の連結子会社であるアーレスティメヒカーナ S. A. de C. V. の平成 30 年 3 月期第 2 四半期(平成 29 年 6 月期)決算は、当社の監査人である有限責任監査法人トーマツと同一のネットワークに属している Galaz, Yamazaki, Ruiz, Urquiza, S. C. による四半期レビューの結果、報告すべき重要な事項は識別していない旨の報告を受けておりました。

しかしながら、有限責任監査法人トーマツによる平成 30 年 3 月期第 2 四半期に係る連結財務諸表のレビュー手続中において、連結子会社であるアーレスティメヒカーナ S. A. de C. V. の税金費用に異常な変動が認められたため、当該子会社にその内容及び理由を問い合わせた結果から、過年度から継続して当該子会社の財務諸表における税効果会計の適用誤りが判明いたしました。

当社の連結財務諸表作成の過程において、当該子会社の個別財務諸表は国際会計基準に準拠して作成されており、機能通貨として米ドルを採用しております。また、当該子会社の税務申告は現地通貨であるメキシコペソに基づいて計算されております。これらの換算差額に係る一時差異について、IAS12 号第 41 項の適用が求められておりますが、その適用に誤りがあったものであります。

現時点において、当該子会社に対して過年度を含めた正確な数値の再計算を指示した結果、平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結財務諸表等に与える期首剰余金への影響額は△27 億円程度(平成 29 年 3 月期末 400 億円→373 億円)、親会社株主に帰属する四半期純利益への影響額は+8 億円程度(平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計額 5.5 億円→13.5 億円)と見込まれます。

2. 今後の対応について

本件誤謬に関しましては、現在、当社において当該事項の発生原因の究明及び当該数値の検証作業を進めており速やかに過年度の連結財務諸表等の訂正作業を行ってまいりますが、当該訂正が平成 30 年 3 月期第 2 四半期報告書の提出期限(平成 29 年 11 月 14 日)までに完了しない見込みとなりましたので、当該四半期報告書の提出期限の延長申請を関東財務局に対して行う予定であります。

当該延長申請が承認された場合には、平成 29 年 11 月 8 日付で公表しました「平成 30 年 3 月期第 2 四半期決算短信」を含めた過年度の訂正四半期決算短信及び訂正決算短信、過年度の四半期報告書及び有価証券報告書の訂正報告書を確定次第速やかに提出する予定であります。

株主をはじめ投資家の皆様、お取引先及び関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますことを、心より深くお詫び申し上げます。

以上